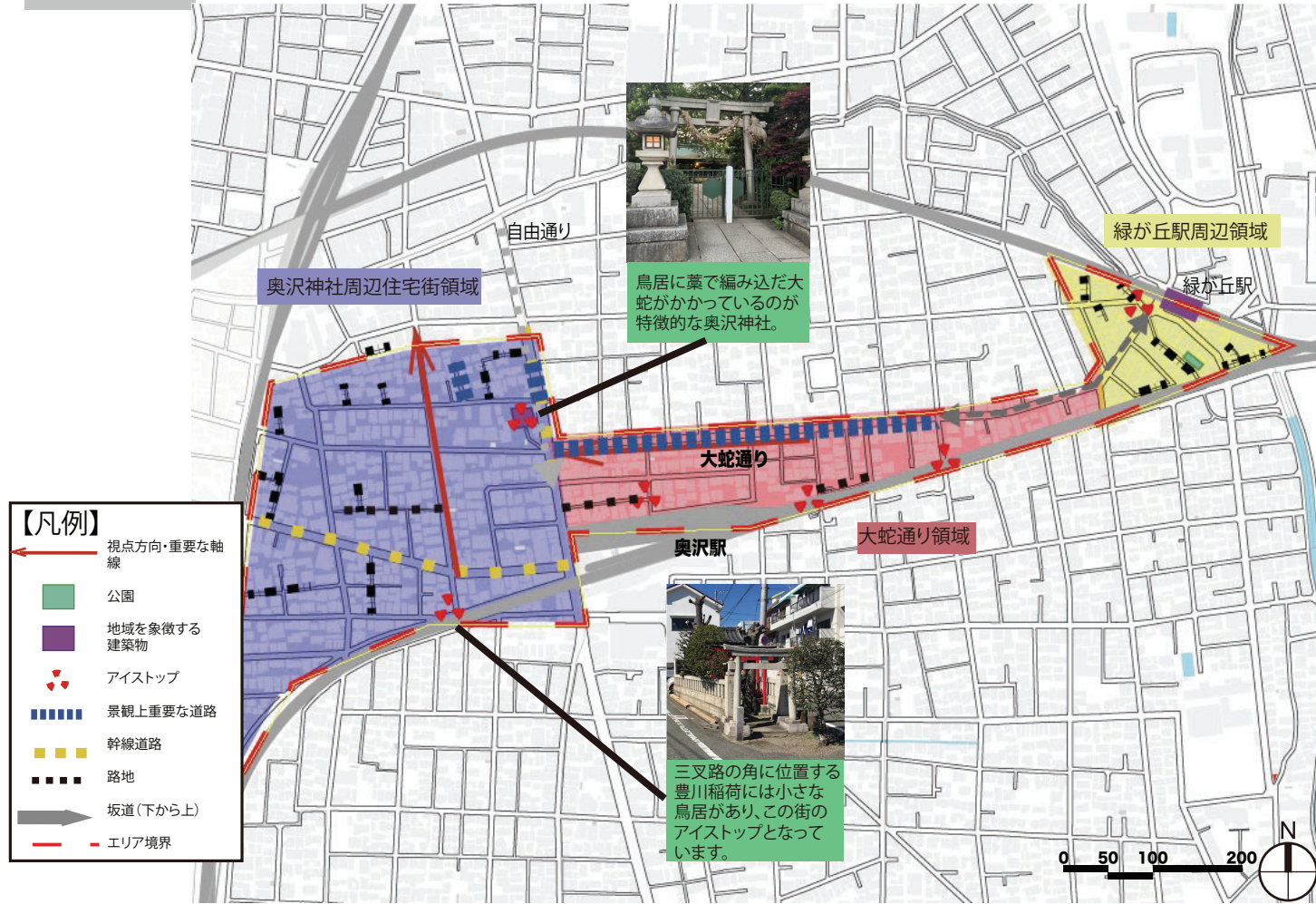


# 4-3 大蛇通り・奥沢神社周辺エリア

奥沢神社や豊川稲荷など歴史資源が立地するこのエリアは緑が丘駅周辺と奥沢駅周辺が近隣商業地域となっており、これらに第二種住居地域である大蛇通りが通っています。エリア内は幅員の異なる道路が交わる奥沢神社周辺住宅街領域、商業店舗と緑が調和している緑が丘駅周辺領域、これらを繋ぐ大蛇通り領域の三つの特徴に分類できます。

## 景観特性



### 1. 地域の信仰の中心、奥沢神社



この地域のアイストップとなっている奥沢神社は周辺の道路景観に影響を与えています。奥沢神社周辺の住宅街では、1930年代に形成された街路を今も残しつつ、多くの住居を建てるために作られた細い道が多く見られ、その細道に沿って庭をもつ比較的新しい戸建てが多く密集しています。

### 2. 鳥居を中心に広がる大蛇通り



大蛇通りから奥沢神社の鳥居が見える見通しの良い景観は、昔この道が神社へ向かう道として使われていたとされます。この通り沿いは3階建て以上の建物が多くみられるが、通りから一本線路側に入ると、袋小路が多くみられ、閑静な住宅街が広がっています。

### 3. 店舗一体型集合住宅の街並み



緑が丘駅周辺の建物は1階に飲食店や店舗が入っているが人々の滞留も少ないです。2階以上は住居施設として利用されている建物が多く見られます。駅前の通りから少し外れると通り沿いの雰囲気とは一転して、緑と戸建て住宅が多く存在します。

## 景観形成の目標

# 大蛇通りを中心とした緑の保全と住みやすい景観へ

本エリアは奥沢神社等の歴史資源、緑ヶ丘駅から奥沢駅を結んだ大蛇通りを中心に多様な景観が特徴となっている。本ガイドラインではこの景観の多様性を保全し、さらに引き出すための整備を行うことを目的とする。

## 景観形成の方針

### 1. 閑静な住宅街の景観の保全と統一

#### 景観形成の考え方

自由が丘駅と奥沢駅の間で立ち並ぶ閑静な住宅街における庭、塀などのガイドライン制定から景観の統一と地域の調和を図る。

#### 具体的な方策

- 道と敷地の境目付近に庭を設置することを定めることで、景観を統一する。
- 塀の高さをアイレベルに統一し、連続性のある景観を目指す。
- 敷地分割をせずに制限を設け地域全体の環境と景観を保全する。



### 2. 神社とまちを調和させた景観を調和させる

#### 景観形成の考え方

奥沢神社の前に一直線に広がる旧参道「大蛇通り」周辺鳥居が見える見通しの良い景観を保全する。

#### 具体的な方策

- 電柱を敷地境界に寄せ、大蛇通りの見通しと景観の良さを促進する。
- 歩行者用道路の道幅の確保、駐停車禁止の規則を設けるなどで歩行者と自動車の接触を防ぎ、歩行者の安全面に配慮する。
- 大蛇通りから奥沢神社周辺までの緑と彩色を統一することで、連続性を持たせ、景観の統一を図る。



### 3. 緑化の推進と管理による街路景観を創出する

#### 景観形成の考え方

緑道と、緑道沿いに茂る豊かな緑の景観を保全し、さらに自然の魅力を引き出す整備を行う。

#### 具体的な方策

- 住宅や建物以外の路肩部分に緑を増やす。
- 住宅の敷地面積20%を緑化し緑化面積を確保することで、地域全体の緑化を推進する。
- 木々の高さを制限を適切に管理し、自然を活用した景観を創る。

